

記者発表資料

平成22年度 宇都宮国道事務所の事業概要について

○宇都宮国道事務所では、栃木県内（一部茨城・埼玉県内を含む）の国道4号及び50号の管理及び整備を行っています。

○平成22年度の宇都宮国道事務所の全体予算は、約114億円です。

主要事業は以下のとおりです。

◆**国道4号 氏家矢板バイパス(高根沢町～矢板市)、西那須野道路(那須塩原市)**

- ・氏家矢板バイパスは、昨年7月にバイパス部の約4.3kmが2/4車線で開通し、そのうち矢板市内の約2kmが平成22年4月26日に4車線で開通しました。引き続き**全線4車線化に向け、氏家・矢板地区において、用地買収及び改良工事**を実施します。
- ・西那須野道路は、**三区町～西富山地区において、道路設計、用地買収及び改良工事**を実施します。

◆**新4号国道（茨城県猿島郡五霞町～栃木県宇都宮市）**

- ・平成22年1月に、問屋町交差点（宇都宮市内）の立体化が完成しました。引き続き、**道路設計及び五霞・古河・下野・上三川・平出地区において改良工事、橋梁の上部工事**を実施します。

◆**国道4号 安塚街道入口交差点改良事業（宇都宮市）**

- ・交通事故対策として交差点改良（右折レーン設置等）を実施します。

◆**国道4号 羽川歩道整備（小山市）**

- ・歩行者の安全性向上を図るために、歩道整備を実施します。

◆**国道4号・50号 耐震補強（宇都宮市・高根沢町・小山市）**

- ・橋梁の耐震対策や橋梁の長寿命化のために予防的な修繕を実施します。

◆**道の駅「しもつけ（仮称）」（下野市）**

- ・平成23年春のオープンに向け、駐車場や情報提供施設などの整備を実施します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

電話 028-638-2181（代表）

副所長 早野 英人 計画課長 大里 弘人

平成22年度 宇都宮国道事務所 事業費

(単位:百万円)

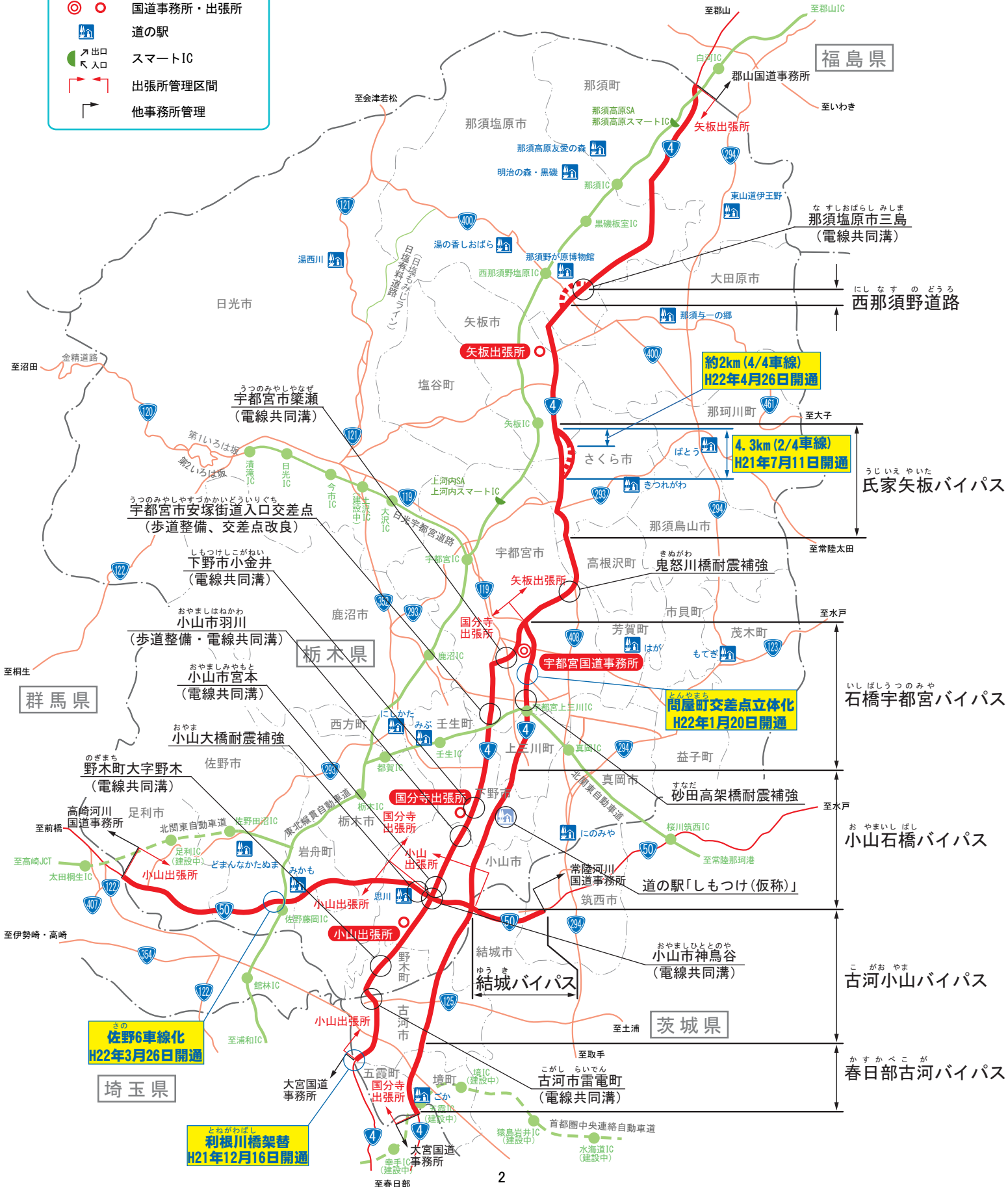
事業名	宇都宮国道
改築事業	6,051
新4号国道 春日部古河バイパス	952
新4号国道 古河小山バイパス	227
新4号国道 小山石橋バイパス	405
新4号国道 石橋宇都宮バイパス	594
国道4号 氏家矢板バイパス	1,044
国道4号 西那須野道路	949
国道50号 結城バイパス	75
国道4号 利根川橋	506
国道4号 耐震補強	900
国道50号 耐震補強	399
交通安全事業	2,309
電線共同溝事業	865
維持管理	2,160
合 計	11,385

※上記のほか、調査費、業務取扱費等がある。

平成22年度事業箇所 (主な事業箇所)

【凡例】

- 国道 (管理区間)
- 国道 (県管理区間)
- 高速自動車道・有料道路
- ◎ ○ 国道事務所・出張所
- ♣ 道の駅
- ↗ ↘ 出口 入口
- ↔ 出張所管理区間
- ↗ 他事務所管理



国道4号 氏家矢板バイパス

H22年度事業費：10.44億円

【事業の概要】

国道4号氏家矢板バイパスは、さくら市及び矢板市内の交通混雑と交通安全確保を目的とした塩谷郡高根沢町上阿久津から矢板市片岡に至る延長約13.9kmの現道拡幅及びバイパス事業です。

平成21年7月11日に矢板バイパス部約4.3kmが暫定2/4車線で開通し、そのうち約2kmが平成22年4月26日に4車線で開通しました。

事業箇所：栃木県塩谷郡高根沢町上阿久津～矢板市片岡

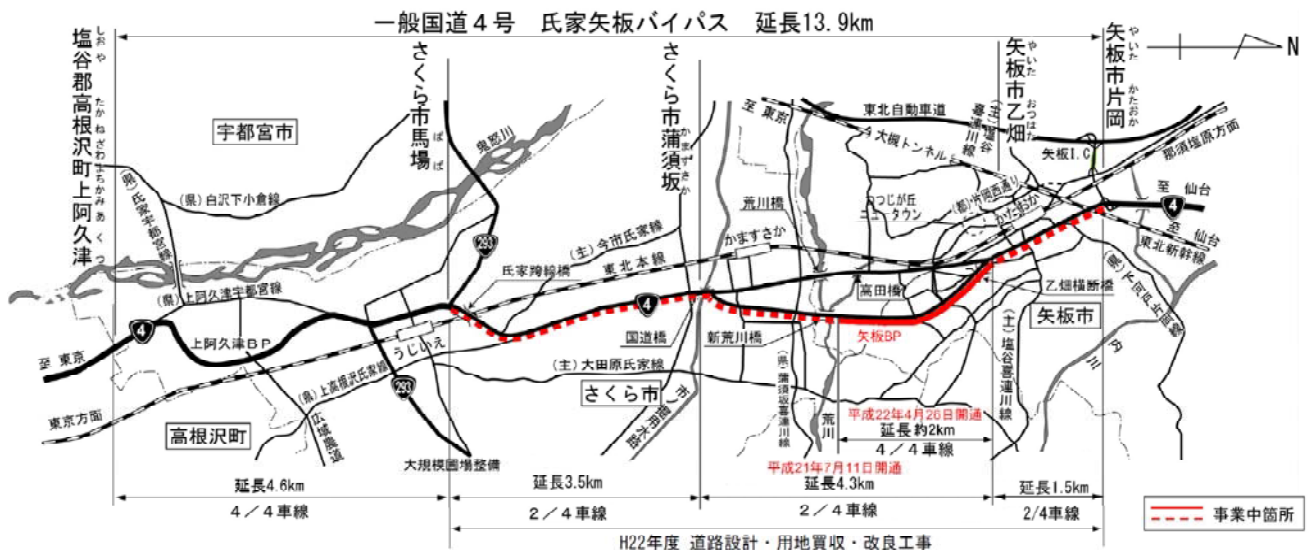
延長：L=13.9km
うち4車線開通区間：L=6.6km
2車線開通区間：L=7.3km

【平成22年度予定】

- ・道路設計及び氏家・矢板地区において用地買収・改良工事を実施

【事業の効果】

氏家矢板バイパスが整備されることにより、地域間の連携を強化し、さくら市及び矢板市内の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図ります。



蒲須坂南交差点付近（福島方面を望む）



新荒川橋付近（福島方面を望む）

にしなすの 国道4号 西那須野道路

H22年度事業費：9.49億円

【事業の概要】

にしなすのどうろ なすしおぼら
国道4号西那須野道路は、那須塩原市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とするバイパス及び現道拡幅事業です。

事業箇所：なすしおぼらしきんちよう なすしおぼらしにしとみやま
栃木県那須塩原市三区町～那須塩原市西富山

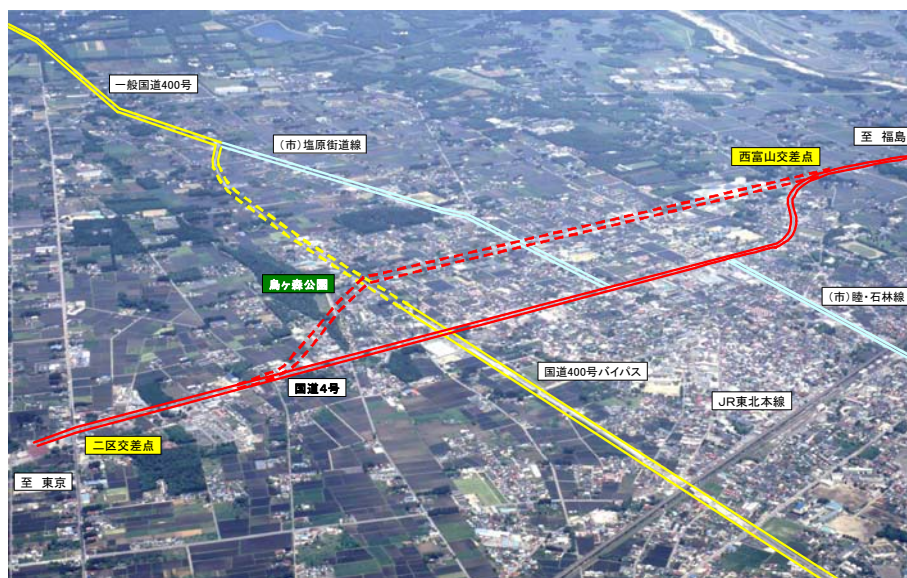
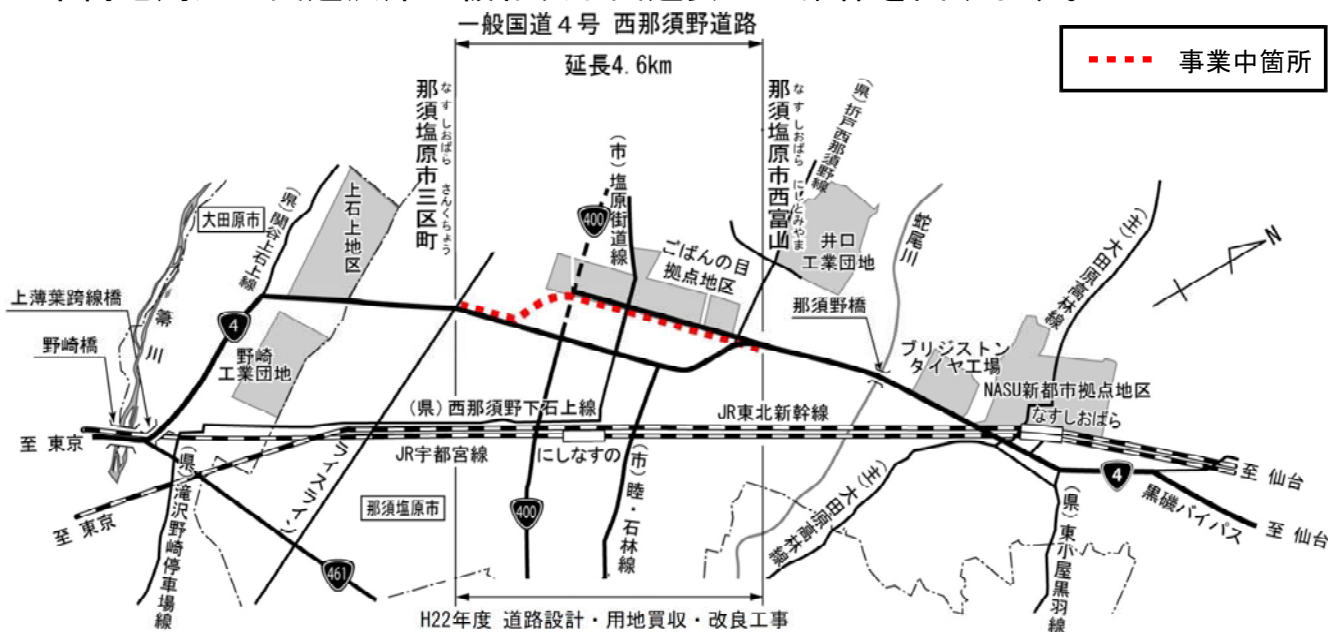
延長：L=4.6km

【平成22年度予定】

- ・道路設計、用地買収及び三区町～西富山地区において改良工事を実施

【事業の効果】

西那須野道路が整備されることにより、地域間の連携を強化し、那須塩原市街地周辺の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図ります。



新4号国道

H22年度事業費：21.78億円

【事業の概要】

新4号国道は、埼玉県越谷市を起点とし栃木県宇都宮市に至る延長約80.5kmの道路です。宇都宮国道事務所では、茨城県猿島郡五霞町から栃木県宇都宮市までの延長約62kmの区間を整備しています。

春日部古河バイパス、古河小山バイパス、小山石橋バイパス、石橋宇都宮バイパスの各事業として整備を進めており、周辺市街地の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とするバイパス事業です。

平成22年1月20日に、宇都宮市問屋町交差点の立体化が完成し、周辺道路の混雑緩和が図られています。

事業箇所：茨城県猿島郡五霞町～栃木県宇都宮市

延長：L＝約62km

【平成22年度予定】

- ・道路設計及び五霞・古河・下野・上三川
- ・平出地区において改良工事、新利根川橋

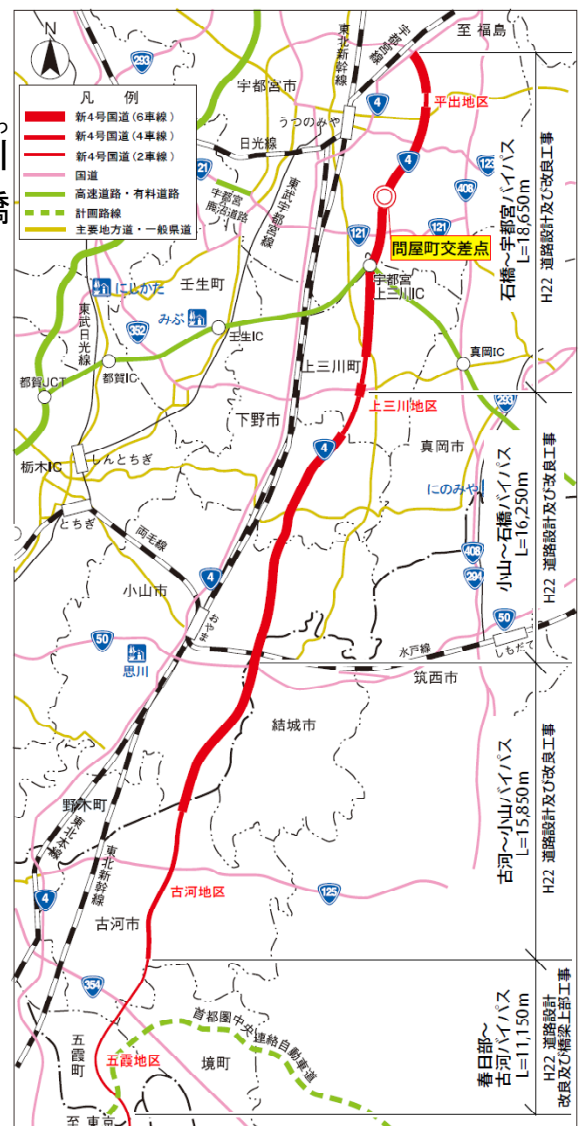
の橋梁上部工事を実施

【事業の効果】

新4号国道の整備により、地域間の連携を強化し、並行する現道や市街地周辺の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を図ります。



問屋町交差点（石橋宇都宮バイパス）



やすづかかいどういりぐち

国道4号 安塚街道入口交差点改良事業

H22年度事業費：1.20億円

【事業の概要】

国道4号安塚街道入口交差点は、右折待ち車両に後続車が追突する事故が多発しているため、交通事故対策として交差点改良（右折レーン設置）を行うとともに、歩道幅員が狭小であるため、歩道の拡幅を行い自転車歩行者道を整備します。

事業箇所：栃木県宇都宮市雀の宮地先

【平成22年度予定】

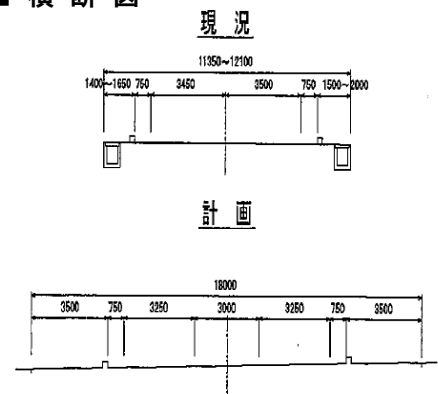
- ・調査設計、用地買収及び工事を実施

【事業の効果】

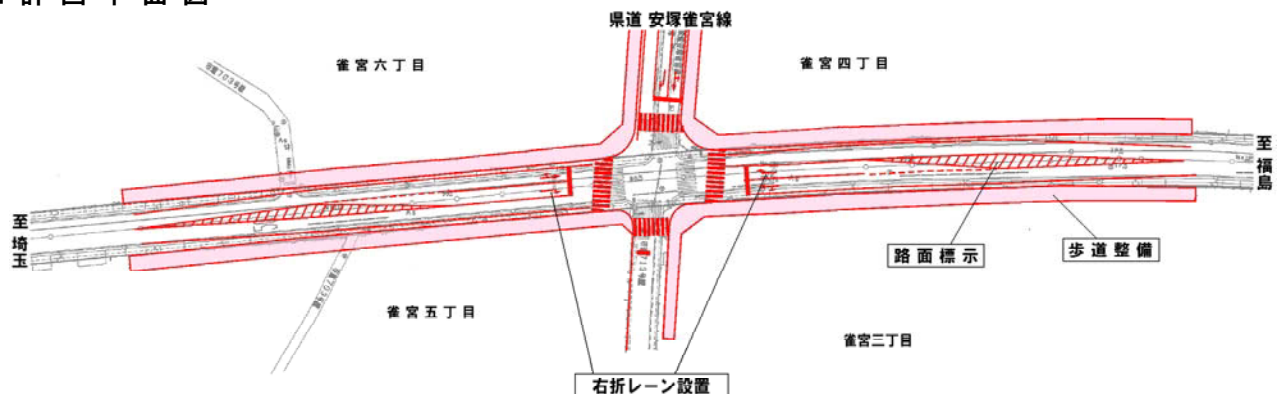
当該交差点周辺には、JR雀宮駅、小・中学校、病院、商業施設等が隣接し、通学路にも指定されているため、交差点改良による交通事故対策とともに、自転車歩行者道を整備することにより、歩行者や自転車に配慮した道路空間の再構築を図ります。



■ 横断図



■ 計画平面図



はねかわ 国道4号 羽川歩道整備

H22年度事業費：1.68億円

【事業の概要】

国道4号羽川歩道整備は、歩道の幅員が狭い区間であるおやましはねかわ小山市羽川交差点からしもつけしかわなご下野市川中子間における、歩道を利用される方にとって安全で快適な歩道空間を形成することを目的とした事業です。

事業箇所：栃木県小山市羽川～下野市川中子
延長：L=2.3km

【平成22年度予定】

- ・用地買収及び工事を実施

【事業の効果】

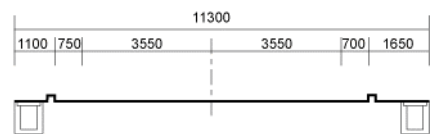
当該路線沿線には公共機関や羽川小学校などが立地しており、また、通学路にも指定されていますが、歩道が狭い区間があります。歩道整備を実施することにより、歩行者や自転車の安全に配慮したバリアフリーの歩行空間を生み出します。

【モデル区間の状況】

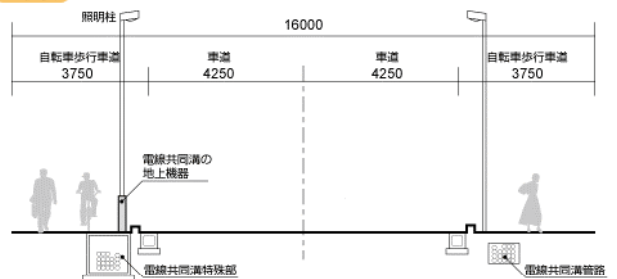


※モデル区間では、沿道住民の意見（カラー舗装等）を歩道整備に反映し、先行的に整備しています。

整備前



整備後



耐震補強及び橋梁補修事業

H22年度事業費：25.94億円

【事業の概要】

宇都宮国道事務所が管理する国道4号及び50号は、北関東の各都市を連絡する主要幹線道路で、第一次緊急輸送道路※に指定されています。

大規模地震発生時における緊急輸送道路を確保するために橋梁の耐震対策や長寿命化のために予防的な修繕を実施します。

※第一次緊急輸送道路：県庁所在地、地方中心都市などを連絡する重要な道路

【平成22年度予定】

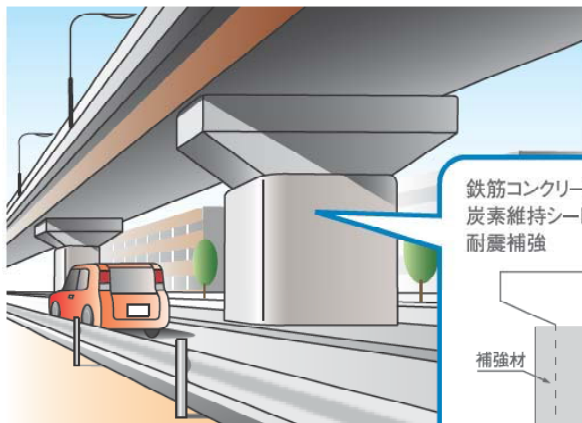
- ・ 国道4号 砂田^{すなだ}高架橋 [宇都宮市] (耐震補強)
- ・ 国道4号 鬼怒川^{きぬがわ}橋 [宇都宮市～高根沢^{たかねざわ}町] (耐震補強)
- ・ 国道50号 小山大橋 [小山市] (耐震補強)

など

【事業の効果】

- ①大規模地震発生時に橋梁の倒壊や落橋を防止し、救援活動や緊急物資を輸送するための道路を確保します。
- ②今後、老朽化する橋が増えることを踏まえ、大規模な修繕が必要となる前に予防的な対策を行うことにより橋の延命化を図ります。

【施工例】



耐震補強の整備イメージ



電線共同溝事業

H22年度事業費：8.65億円

【事業の概要】

宇都宮国道事務所が管理する国道4号において、市街地の防災機能の向上と美しい街並みの形成を図るため、電線類を地中化する電線共同溝の整備を進めます。

【平成22年度予定】

- ・ 国道4号 小山市神鳥谷 (L=3.4km)
- ・ 国道4号 下野市小金井 (L=1.2km)
- ・ 国道4号 野木町大字野木 (L=1.5km)
- ・ 国道4号 那須塩原市三島 (L=2.4km)
- ・ 国道4号 小山市宮本 (L=1.2km)
- ・ 国道4号 宇都宮市築瀬 (L=2.2km)
- ・ 国道4号 小山市羽川(1) (L=1.3km)
- ・ 国道4号 小山市羽川(2) (L=3.4km)
- ・ 国道4号 古河市雷電町 (L=1.5km)

【事業の効果】

電線共同溝は、機能的な道路空間と美しい街並みを形成するため、電線及び光ファイバー等をまとめて歩道の下などに收容し、電線類を地中化することにより、災害時の緊急輸送道路の確保、円滑な消防活動、台風・地震等の災害に強い街づくり、高度情報化に向けて電力の安定した供給や通信の信頼性の向上を図ります。

【電線共同溝の整備の事例】



宇都宮市今泉付近

道の駅『しもつけ（仮称）』

【事業の概要】

道の駅『しもつけ（仮称）』は、新4号国道と県道^{ささはらにのみや}笹原二宮線^{やく}が交わる薬師寺交差点付近に開設される道の駅です。現在、平成23年春のオープンに向け、下野市と協同で事業を実施しています。

事業箇所：栃木県^{しもつけしやくしじ}下野市薬師寺

【平成22年度予定】

- ・簡易パーキング、情報提供施設の整備等を実施

【事業の効果】

首都圏から北関東への物流・観光交通に対する、休憩サービスや地域情報の提供を行い、地域振興の拠点としての機能を果たします。

【位置図】



【道の駅予定地(福島方面を望む)】

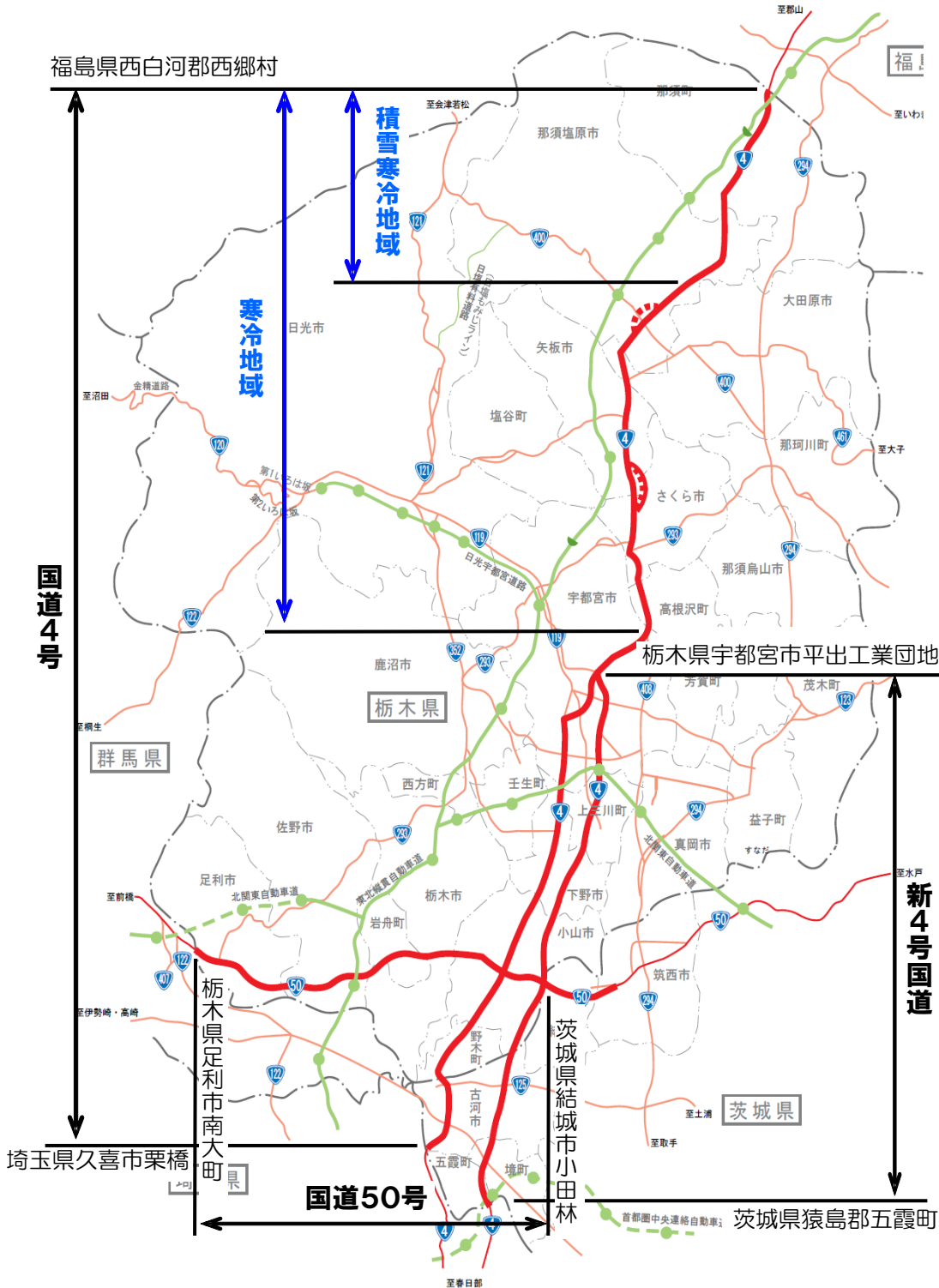
維持管理

宇都宮国道事務所の維持管理について

宇都宮国道事務所では、栃木県内(一部茨城県・埼玉県を含む)の国道4号、新4号国道、国道50号の3路線、総延長約234kmの維持管理を行っています。

平成22年度より、これまで地域ごとでバラツキのあった巡回、清掃、除草、除雪等の各作業について、通行の安全性に支障のないと考えられる範囲で、全国統一の基準を明確に設定し、運用することにより、維持管理費の縮減を図ります。

【宇都宮国道事務所管理区間】



【巡回】



【清掃】



【除草】



【剪定】



【除雪】



【凍結防止剤散布】